

# 平成20年度 事業報告書

自 平成20年 1月 1日

至 平成20年12月31日

財団法人 河北文化事業団

## 1.事業の報告

### (1) 主催事業

#### (イ) 第57回(平成19年度)河北文化賞の贈呈

東北の学術、芸術、体育、産業、社会活動の各分野で顕著な業績を上げた個人、団体に贈る第57回河北文化賞は、東北6県から推挙を受けた計55件の中から4件の授賞を決定した。贈呈式は平成20年1月17日、仙台市の仙台国際ホテル「平成の間」で、東北各県各界の代表約350人の列席を得て行った。

受賞者と業績は次の通り。

「単結晶材料の研究開発で東北の企業を育成した功績」

東北大名誉教授 福田 承生

「東北学の構築と実践による東北文化への功績」

東北芸術工科大大学院長 赤坂 憲雄

「多年にわたり重度身体障害者の就労と社会復帰に貢献」

錦戸洋服店代表取締役社長 錦戸 光一郎

「巨大ねぷたを復元し、東北の夏祭りに育て上げた功績」

五所川原立佞武多運営委員会

贈呈式では、一力一夫理事長が受賞者の業績を紹介し、「今後も東北の文化向上、発展のために努力され、河北文化賞の意義をより深いものにしていただきたい」とあいさつ。金成有造常務理事が審査経過を報告し、一力理事長から受賞者に本賞(賞牌)と副賞100万円ずつが贈られた。この後、アク

アマリンふくしま館長 安部義孝氏が「アクアマリンとシーラカンス最前線」と題して記念講演を行った。引き続き茶話会に移り、各推挙者から受賞者それぞれの人柄や業績の紹介があり、盛会のうちに幕を閉じた。

#### (口) 第 72 回河北美術展の開催

河北新報社との共催で第 72 回河北美術展を 4 月 25 日から 5 月 7 日まで、仙台市の藤崎本館 7 階催事場と 8 階グリーンルームで開催した。

わが国最大の地方公募展として歴史、規模を誇る同展は、東北における美術文化の向上に大きな役割を果たしており、中央画壇にも数多くの人材を輩出している。72 回展には日本画、洋画、彫刻の 3 部門に、東北 6 県はもとより全国各地から 1162 点（前回 1174 点）の作品が寄せられた。

展覧会には、厳しい審査で選ばれた入賞 31 点と入選 372 点、さらに、72 回展審査員、顧問、招待作家の作品 59 点の計 462 点が展示され、連日多くの美術ファンでにぎわった。

最高賞の河北賞は、日本画＝針生卓治（山形市）、洋画＝阿部良広（石巻市）、彫刻＝須佐尚康（仙台市太白区）の各氏、文部科学大臣賞は、洋画＝海上雄氏（仙台市泉区）が受賞した。

審査は、日本画＝那波多目功一（日本美術院展）、福田千恵（日展）、洋画＝中山忠彦（日展）、島田鮎子（国画会）、藪野健（二紀会）、彫刻＝能島征二（日展）の各氏が行った。

本展終了後、栗原市、大崎市、宮城県利府町で巡回展を開催、好評を博した。

#### (ハ) 若鷲旗争奪第 37 回東北中学校野球大会兼第 30 回全国中学校軟式野球大会東北予選会の開催

東北中学校体育連盟、東北野球連盟、岩手県教育委員会、久慈市教育委員会、野田村教育委員会、洋野町教育委員会、普代村教育委員会との共催で、第 37 回東北中学校野球大会を第 30 回全国中学校軟式野球大会の東北予選会を兼ねて 8 月 6 日から 8 日までの 3 日間、岩手県野田村のライジング・サン・スタジアムと同県洋野町のオーシャンビュースタジアムを会場に開催した。

東北各県から弘前一、三本木（青森）、山田、城西（岩手）しらかし台、

宮（宮城）、羽城、矢島（秋田）、鶴岡三、松山（山形）、中央台南、江名（福島）の計 12 チームが出場、熱戦を繰り広げた。

決勝は中央台南と城西の対戦となり、中央台南が 3-0 で初優勝を飾り、若鷲旗を手にした。両チームは東北代表として長野県諏訪市で開かれた全国大会に出場し、中央台南は 1 回戦で敗れたが、城西は 8 強に進出した。

## (二) 第 55 回河北書道展の開催

東北書道界の最高峰を誇る第 55 回河北書道展を河北新報社との共催で、8 月 8 日から 13 日までの 6 日間、藤崎本館 7 階催事場で開催した。

今回は東北各県から会友、一般合わせて 1076 点（前回 1035 点）の応募があった。部門別の応募状況は、第 1 部（漢字）230 点、第 2 部（かな）93 点、第 3 部（墨象）155 点、第 4 部（近代詩文）267 点、第 5 部（少字）82 点、第 6 部（篆刻・刻字）100 点、第 7 部（漢字一行書）149 点。

高橋孤舟審査委員長以下 35 人の審査員が厳正かつ慎重な審査を行った結果、入賞 17 点、特選 97 点、準特選 57 点、入選 663 点が決まった。

河北賞は、第 1 部=中野葉水（仙台市青葉区）、第 2 部=佐藤美和（上山市）、第 3 部=米倉聲香（石巻市）、第 4 部=大町菜円（大崎市）、第 5 部=佐々木藤恵（塩釜市）、第 6 部=千葉翠山（一関市）、第 7 部=小野知青（仙台市若林区）の各氏が受賞した。

展覧会には、入賞、入選作品と審査員、招待、委嘱作家の作品合わせて 987 点を展示、訪れる書道ファンを楽しませた。本展終了後、大崎市で巡回展を開催し、好評を得た。

## (三) 第 52 回全東北ピアノコンクールの開催

東北放送、東北放送文化事業団との共催による第 52 回全東北ピアノコンクールの本選会を 6 月 29 日、仙台市の若林区文化センターで開催した。

今回は東北 6 県にゆかりのある 43 人が参加し、うち予選を通過した 7 人が本選に出場。審査の結果、宮城第一高等学校 3 年海老名遙香さん（仙台市青葉区）が第 1 位に輝き、文部科学大臣賞を受賞した。

このコンクールは、東北の音楽文化の振興をはかるとともに、若手演奏家を育てようと昭和 32 年にスタートした。以来、52 回を数え、この間、多く

の優れたピアニストを中央楽壇に送り出すなど、大きな成果を上げている。

#### (ヘ) 第 17 回河北工芸展の開催

河北新報社、宮城県文化振興財団との共催で、第 17 回河北工芸展を 10 月 14 日から 19 日までの 6 日間、仙台市のさくら野百貨店仙台店 8 階催し物会場で開催した。

同展は東北の工芸美術の振興と発展を目的に、平成 4 年に創設。今回は東北在住・出身者から 352 点（前回 393 点）の応募があった。

酒井田柿右衛門（日本工芸会）、春日井路子（現代工芸美術家協会）、中村武郎（日本新工芸家連盟）の 3 氏が審査に当たり、入賞 16 点、入選 218 点を選んだ。

最高賞の河北賞は染織の菅原順子氏（仙台市泉区）が受賞した。

展覧会場には、入賞、入選作に審査員、顧問、招待作家の作品 27 点を加えた 261 点が展示され、連日多くの工芸ファンが詰め掛けた。

#### (2) 協力事業

宮城県芸術協会、河北新報社などが主催する第 45 回宮城県芸術祭に協力し、優秀な成績を収めた 12 人に本団から奨励賞を交付した。

受賞者は、絵画部=相澤一夫、其田マサ、舟澤怜、書道部=奈須野青蘭、岡崎幸子、武山櫻子、伊勢一枝、伊澤香雨、工芸部=高橋とも子、写真部=遠藤正弘、三浦通正、文芸部=畠中次郎の各氏。

## 2. 処務の概要

### (1) 役員に関する事項

(平成20年12月末日)

役職	氏名	手当	現職	就任年月日
理事長	一力一夫	なし	河北新報社取締役会長	昭36・3・30
常務理事	一力雅彦	〃	河北新報社代表取締役社長	平20・4・1
理事	梅原克彦	〃	仙台市長	平17・8・22
〃	永野為光	〃	東北放送代表取締役社長	平17・4・1
〃	久道茂	〃	東北大学名誉教授	平16・4・1
〃	加藤正人	〃	宮城県社会福祉協議会会长	平20・4・1
〃	小山喜三郎	〃	宮城県芸術協会理事長	平20・4・1
監事	佐藤久内	〃	仙台銀行相談役	平11・12・14
〃	岡崎智政	〃	河北新報社常務取締役	平19・6・27
評議員	村井嘉浩	〃	宮城県知事	平17・11・21
〃	佐藤雄平	〃	福島県知事	平18・11・13
〃	達増拓也	〃	岩手県知事	平19・4・30
〃	三村申吾	〃	青森県知事	平15・7・1
〃	寺田典城	〃	秋田県知事	平9・4・1
〃	斎藤弘	〃	山形県知事	平17・2・14
〃	井上明久	〃	東北大学総長	平18・11・6
〃	星宮望	〃	東北学院学院長	平19・4・1
〃	吉崎泰博	〃	宮城学院女子大学学長	平17・4・1
〃	幕田圭一	〃	東北経済連合会会长	平17・5・18
〃	小林伸一	〃	宮城県教育委員会教育長	平20・4・1
〃	佐藤憲一	〃	仙台市博物館館長	平13・5・31
〃	渡辺雄彦	〃	宮城県芸術協会顧問	平10・5・21
〃	出村和子	〃	仙台いのちの電話理事長	平20・4・1
〃	中島俊和	〃	東北放送事業局長	平20・4・1
〃	宍戸實	〃	河北新報社常務取締役	平17・4・1
〃	大島孝夫	〃	河北新報社常務取締役	平20・4・1
〃	田中昭	〃	河北新報社取締役	平20・4・1
〃	西川善久	〃	河北新報社取締役	平20・4・1
〃	金成有造	〃	河北新報社取締役	平20・4・1

(2)職員に関する事項

職務	氏名	就任年月日	担当	手当	
事務局長	谷藤仁史	平18.4.1	統括	なし	河北新報社事業部長
職員	三浦尚登	平20.4.1	総務	〃	河北新報社事業局事業部副部長
〃	山田淳	平19.4.1	〃	〃	〃
〃	菊池かおる	平16.4.1	〃	〃	河北新報社事業局事業部
〃	小番浩憲	平19.4.1	〃	〃	〃

(3)役員会に関する事項

(イ)理事会

開催月日	議事事項			会議の結果
	議題	1. 平成19年度事業報告書案承認の件	2. 平成19年度収支計算書案承認の件	
2月16日	議題	3. その他		原案通り承認可決 〃
4月1日	議題	1.理事長互選の件		原案通り承認可決 〃
	議題	2.常務理事互選の件		〃
	議題	3.評議員選任の件		〃
12月22日	議題	1.平成21年度事業計画書案承認の件		原案通り承認可決 〃
	議題	2.平成21年度收支予算書案承認の件		〃
	議題	3.第58回河北文化賞贈呈の件		〃
	議題	4.その他		〃

(ロ)評議員会

開催月日	議事事項			会議の結果
	議題	1. 平成19年度事業報告書案承認の件	2. 平成19年度収支計算書案承認の件	
2月16日	議題	3. その他		原案通り承認可決 〃
3月31日	議題	1.理事選任の件		原案通り承認可決 〃
	議題	2.監事選任の件		〃
12月22日	議題	1.平成21年度事業計画書案承認の件		原案通り承認可決 〃
	議題	2.平成21年度收支予算書案承認の件		〃
	議題	3.第58回河北文化賞贈呈の件		〃
	議題	4.その他		〃

(4)許可、認可および承認に関する事項

該当なし

(5)契約に関する事項

該当なし

(6)寄附に関する事項

該当なし

(7)主務官庁指示に関する事項

該当なし